

# 地域に根ざした日本語支援を考える研修会

2018年2月10日(土) 13時~16時



約10万人の外国人県民が暮らす兵庫県には、現在すべての市町に日本語教室があります。各教室では日本語学習だけでなく、同じ地域で生活する多様な人々が出会い、知り合い、理解し合う場としての活動が行われています。

今回の研修では講師として、文化庁日本語教育施策推進アドバイザー 吉田聖子氏をお招きします。それぞれの教室の活動スタイルを活かしながら、ひと工夫を加えた日本語支援について、質疑応答を交えて参加者全員で考えたいと思います。多くの皆様のご参加をお待ちしています。

## 「伝え合う、理解し合うことを目指した日本語支援とは？」 ～今の活動スタイルを活かして、もう一工夫～

講師 吉田 聖子氏（朝日カルチャーセンター地域日本語教育講師、川崎市国際交流協会評議員）

兵庫県生まれ。地域の日本語教育に40年以上携わり、現場を熟知した実践者かつ人材育成者。

『みんなの日本語』から各地で作成された生活場面に基づくオリジナルテキストまで、さまざまな教材を使う支援者に向け、対話を取り入れた実践的な活動方法についての講座を全国で行っている。

著書：『外国人と対話しよう！にほんごボランティア手帖』、『同、すぐに使える活動ネタ集』（凡人社）、  
『日本語能力試験対策 にほんごチャレンジ3級 ことばと漢字』（アスク出版）など。

会場 国際健康開発センター3階 会議室1（神戸市中央区脇浜海岸通1-5-1）

定員 65名（定員になり次第、締め切ります。）

参加費 無料

申込み ・郵送、FAX、Eメール

裏面の申込書に必要事項をご記入の上、郵送、FAX、Eメールでお送りください。

申込書は当協会HPからもダウンロードできます。

・WEB 申込みフォーム [http://www.hyogo-ip.or.jp/support/support08/jp\\_kenshu/](http://www.hyogo-ip.or.jp/support/support08/jp_kenshu/)

↑こちらのページからフォームを開いて直接ご記入ください。

締め切り 2018年2月2日(金)



申込書受理の連絡、参加証の発行はありません。

ただし、お申込みの時点で定員をこえており、ご参加いただけない場合はご連絡します。

悪天候等により予定を変更する場合は、当協会HPでお知らせします。

**主催** 公益財団法人 兵庫県国際交流協会 多文化共生課

〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1-5-1 国際健康開発センター2階

TEL: 078-230-3261 FAX: 078-230-3280 E-mail: nihongo@net.hyogo-ip.or.jp WEB: <http://www.hyogo-ip.or.jp/>

**後援** 兵庫県・兵庫県教育委員会・神戸市教育委員会

## 申込書

※ご記入いただいた個人情報につきましては、本研修会の実施及び次回のご案内以外には使用いたしません。

フリガナ		男      女
お名前		【年齢】 10代／20代／30代 40代／50代／60代／70代／80代
ご住所	〒	
ご連絡先	TEL : Eメール :	
日本語支援に関して 知りたいこと、 使ってみたい教材など		

※日本語支援経験のある方は、以下もご記入をお願いいたします。

所属する機関 (活動団体)	機関(団体)名 :		
日本語支援経験	_____年_____ヶ月	[ 成人対象 _____年_____ヶ月 子ども対象 _____年_____ヶ月 ]	
日本語支援対象者 (該当するものに○を お付けください) 複数回答可	[成人] 留学生 / 技能実習生 / 就労者 / ALT / 配偶者 その他 ( )		
	[子ども] 小学生(低学年・高学年) / 中学生 / 高校生 その他 ( )		
活動の場所	例) 明石市 中央公民館 _____		
支援方法 (該当するものに○を お付けください) 複数回答可	・日本語支援 文型積み上げ型 / 場面・会話中心 / その他 ( )  ・生活支援		
日本語支援のスタイル (該当するものに○を お付けください)	1対1 / 小人数グループ / クラス形式		
使用教材			